

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 札幌介護サービス	代表者	三上 力	法人・ 事業所 の特徴	市内に、通所介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護 2 事業所を運営している。 当事業所は、札幌市郊外の自然豊かな住宅街に立地し、民家改修型の持ち味を生かし利用者が居心地良く過ごせるように工夫した家庭的な空間作りをしている。住み慣れた地域で友人や家族に支えられながら自宅での生活を継続できるよう訪問回数を増やし、寄り添う家族の悩みや相談を受け柔軟なサービスで対応している。
事業所名	小規模多機能 ケアホーム 藤野いこいの家	管理者	土屋 祐子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	2人	1人	人	8人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個人記録の片付けと保管場所に注意する。 事業所自己評価を配布するときには専門用語の説明または説明書きを添付する。	個人記録は他人の目に触れないよう、全スタッフが意識することで出しっぱなしで席を立つことが少なくなってきた。常にケースに保管され見えない場所に片付けられている。専門用語については、それぞれに説明した。	いろいろ話し合った様子がうかがえることから適切に取り組まれたと思われる。皆さんが自由に意見を発言できているようで良いです。	職種によって意識の違いが大きくあり、それに伴い知識の差も大きくあった為、ミーティングを利用して研修する機会を増やしていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	室内だけでなく屋外の環境整備にも十分配慮する。現状も夏季は草刈り機を用い、また利用者とともに草取りを行っている。しかし特定の職員がかかわることが多くみられているため、職員の環境整備に関する意識の向上を高めたいと思う。	庭で過ごす時間を多く持ち、屋外の安全な環境と目に入るきれいな環境作りを意識した。スタッフが気付かなくても利用者が掃除を始めることもあり、教えられることも多くあった。	自宅にいるようで居心地が良く利用者の表情も穏やかです。毎月利用者が作成した季節に合った壁紙が飾られています。長時間滞在の利用者も多く、本人が落ち着いた環境で休めるように、居間にもベットが置かれました。利用者が自由に作物を育てられる畑があるのは良いですね。冬の玄関前の除雪がもう少し丁寧だとよいと思う	屋外の環境整備に配慮する。特に草取りと除雪には気を付けていく。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所ホームページのブログの活用がされていませんでしたので、今後は時々載せていこうと思います。 防災避難訓練に地域の方の参加を呼び掛ける。 事業所の行事にボランティアの方を呼ぶ機会を持つ。	年4回の広報誌の作成のみでブログの更新はしていなかった。 避難訓練参加の呼びかけはしたが参加されていない。 ボランティアの方の協力はいろいろな場面であり、感謝している。	職員は誰にでも明るく挨拶をしていると思う。利用者と一緒にイベントに参加している姿を見かける。広報誌を回覧板に入れることで近所の方によく知られていると思う。ホームページを見る人が多くなっているのは是非ともブログの更新をしてください。近	ホームページのブログを更新し、多くの方に事業所の様子を知ってもらおう。

			所に特養老人ホームが開設されるので何らかの形で地域も含め連携が取れるとよいですね。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者居住地の関係者、民生委員、近隣の事業所との連携が少ないので、もう少し積極的に挨拶に伺うなど取り組んでいきたい。	特に独居の方のご近所さんや民生委員の方とは積極的に話をするようにしている。 近隣の事業所にはパンフレット送付などをさせてもらった。	地域の行事やイベントには少数ではあるが参加している。地域との連携が必要な方については包括に相談し、地域ケア会議（町内の方、区役所、包括センター、事業所参加）の開催などで課題解決するよう努力していると思う。	利用者居住の地域の社会資源を把握し、地域の方も含めた支援をしていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方や家族が参加したいと思うようなテーマを考える。	2か月に1回の開催の度にご家族には参加のお誘いはしているのですが出席は少ない。日程が合わず参加できない方も多いが、事業所に立ち寄ってくれる家族は多いので、普段から報告や話し合いをする機会はある。 会議の開催とともに案内している事業所の行事には参加してくれる家族もいる。	運営推進会議ではいつも利用者也参加され満足されている様子が伝わってきていましたが、最近では参加されなくなってしまったように思う。決まった家族の参加があり、もっといろいろな家族参加が増えていくと良いですね。スタッフの参加が増え、意見交換する場面も多くあり良いことだと思う。家族も高齢のため自宅までの送迎をしてくれたら是非参加したい。地域の他事業所と合同の会議を開催することで、ネットワークが広がっていくのではと思われるので、検討してもよいと思う。	運営推進会議に参加できない家族とも個別に話す機会を作り報告も含め、意見を聞きたい。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の防災訓練のうち1回は消防署と家族、関係機関の方に参加していただく。	4月と10月に防災訓練を行っている。消防署には今年度は10月に来ていただいた。9月の地震、それに伴う停電や断水の時の対応で困ったことや不安だったことなどを踏まえ、沢山のアドバイスをいただいた。	防災を意識した取り組みはされていると思う。防災計画を説明してほしい。各地で起きている災害に関心を持ち、訓練に反映させてほしい。連絡網を普段からかけられる必要がある。訓練なしには実際には何もできないと思うので日頃から災害時を意識してほしい。	地域の防災訓練に参加して、施設やどんな方たちが利用しているのか興味をもってもらいたい。また、事業所としてどんな協力ができるのか考えていきたい。